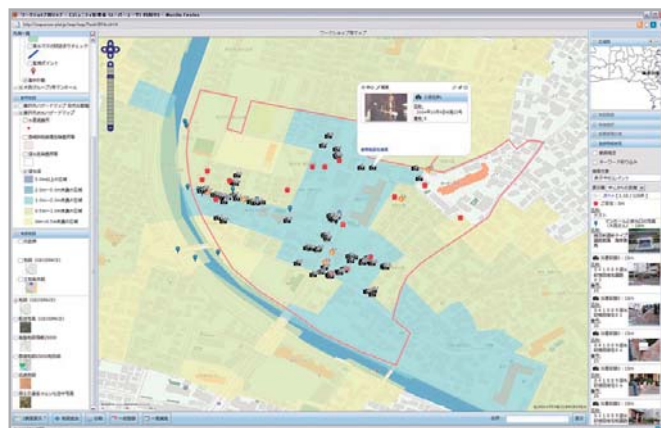


神奈川県藤沢市の取り組み —地域防災力向上を目指した共同研究—



水害痕跡調査



防災マップ作成システム (e コミマップ)



「あめリスクナウ」で浸水被害危険度予測の実証実験



微動観測キャラバン in 藤沢



地域防災ワークショップ



防災ラジオドラマの制作

藤沢市と NIED は、2004 (平成 16) 年度から地域の防災力向上を目指して、さまざまな実証研究を協働で行ってきました。防災情報を市民に提供する防災 GIS、市民協働地域経営プラットフォーム、個人防災行動支援システム、各種自然災害に関するリスク評価システム、地域防災ワークショップやその展開方法など、多岐にわたる取り組みを実施しています。

藤沢市における災害リスク情報プラットフォームに関する実証的研究

藤沢市と防災科学技術研究所（NIED）は、2004（平成16）年度より、「藤沢市における地域リスクガバナンスに関する研究」という共同研究契約を結び、まずは水害を中心に、高精度レーダーによる雨量観測と浸水予測、そして地域住民とのリスクコミュニケーションの研究を行ってきました。2009（平成21）年度からは、改めて「藤沢市における災害リスク情報プラットフォームに関する実証的研究」として5カ年計画の共同研究契約を結び、これまで以上に積極的に地域防災力向上に向けた取り組みを行っています。共同研究は、次の6つのテーマで実施しています（図1-1）。



(1) 市内統合型・相互運用 GIS に関する実証実験

藤沢市市内での相互連携を推進する統合型・相互運用 GIS の導入に関する実証実験を実施しています。この統合型・相互運用 GIS と、NIED が開発中のさまざまな災害対策用システムとが相互に連携し、藤沢市が整備している各種ハザードマップや被害実績図、被害想定などの防災情報を、市民等に提供するための防災 GIS の整備に取り組んでいます。

(2) 市民協働地域経営プラットフォームに関する実証実験

藤沢市が地域住民による地域自治の意思決定機関として設置した「地域経営会議」や、自治会、自主防災組織、避難所運営組織、地区防災拠点運営組織などが、市や事業者、NPO 等と協働して災害対応を行う体制づくりと、防災活動、応急対応の活動を支援する、市民協働地域経営プラットフォームに関する実証実験を実施しています。これは例えば、平時はさまざまなことに利用しているシステムを、災害時に連携させ、「公民協働・多メディア連携型情報集約・配信システム」（図1-2）として稼働するといった仕組みについての実証実験です。その中で NIED が開発中の「e コミウェア」や「地域防災キット」の活用と有効性評価を実施しています。【75 ページ参照】

